

西表島・浦内川における希少魚類のモニタリング

特定非営利活動法人西表島エコツーリズム協会

沖縄県

【活動の背景と目的】

沖縄県・西表島に流れる浦内川は、主流長がわずか 20km でありながら、環境省指定の絶滅危惧種（ⅠA～Ⅱ類まで）に指定されている魚類が 40 種以上確認されている。その中には国内では浦内川のみで生息する魚類も何種か含まれ、国内でも屈指の魚類の多様性を誇る川である。源流部から海に流れ出るまでの間、まったく人口の堤防が築かれていない稀に見る豊かな環境を誇る川だが、地球温暖化の影響や観光客の増加等によって、その環境が変化していくことが懸念されている。

西表島エコツーリズム協会では、2015 年より浦内川の中流域（淡水域）において、希少魚類 6 種のモニタリング（個体数調査）を実施している。本活動では、長期にわたってモニタリングを継続し、環境の変化を察知することで、豊かな浦内川の保全に貢献することを目的とする。

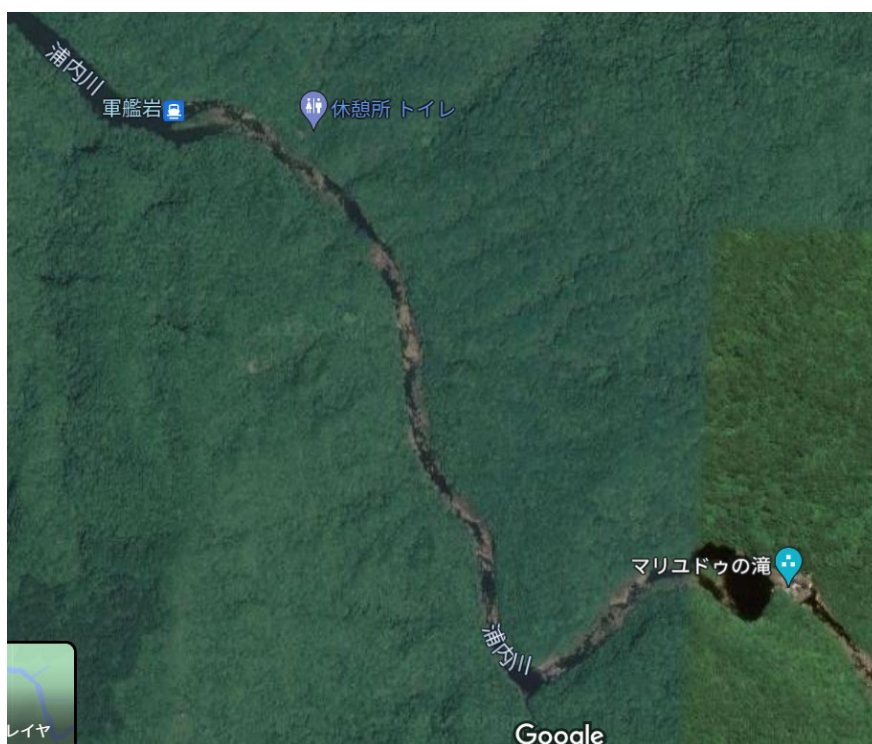
【実施概要】

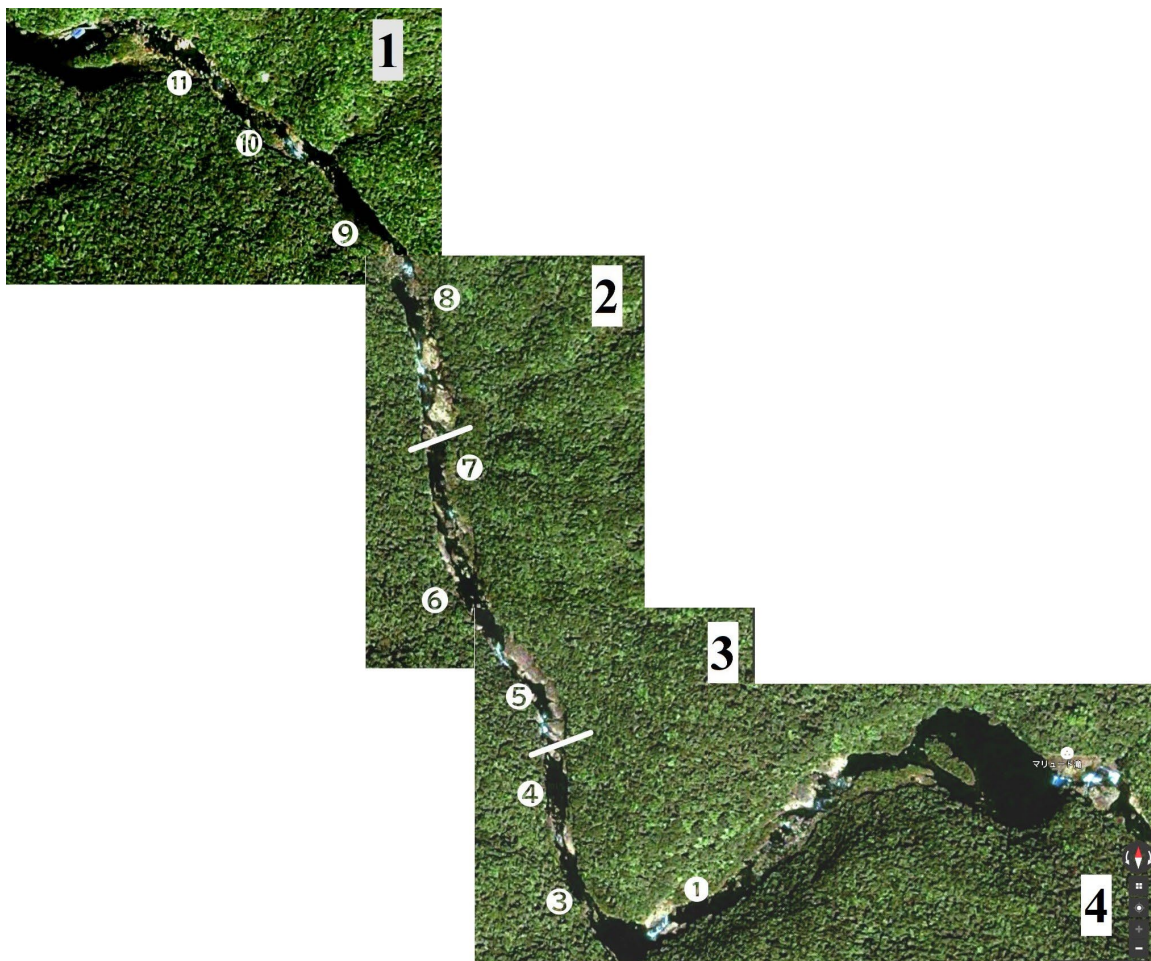
（1） 調査内容

浦内川における希少魚類 6 種の個体数調査

（2） 調査エリア

浦内川中流域・マリユドゥ滝下から軍艦岩まで
淵ごとに 11 の調査区分を設置





(3) 調査方法

対象魚 6 種の個体数をスキンドайビングによりカウントする。また、可能な限り対象魚の静止画、動画の撮影をし、記録をのこす。調査は水温の変化に合わせて年に 3 回実施する。

(4) 調査対象魚

- ・カワボラ (CR)
- ・ウラウチフエダイ (CR)
- ・ヨコシマイサキ (CR)
- ・ニセシマイサキ (CR)
- ・シミズシマイサキ (CR)
- ・ナガレフウライボラ (EN)

※環境省レッドリストにおいて、CR は絶滅危惧 I A 類、EN は絶滅危惧 I B 類

カワボラ



ウラウチフェダイ



ヨコシマイサキ



ニセシマイサキ



シミズシマイサキ



ナガレフウライボラ



(5) 実施体制

調査員：地域のダイビングガイド、西表島エコツアーリズム協会職員

調査統括：西表島エコツアーリズム協会事務局

アドバイザー：魚類専門家

【実施結果】

※R4 年度中に 3 回の調査を予定していたが、R4 年は年間を通して降水量が非常に多く（年間平均降水量 2240 mm に対し、R4 年の年間降水量 3642mm）、調査に適さないコンディションが続き実施ができなかった。

(1) 第 1 回調査

実施日時：R5 年 9 月 28 日 9:30~13:00

天候：晴れ 気温：31℃ 水温：27℃

調査員：笠井、竹内、徳岡大、高橋、馬込、堀井、徳岡春

記録者：井上

調査結果（確認個体数）

- ・カワボラ（1）
- ・ウラウチフェダイ（4）
- ・ヨコシマイサキ（3）
- ・ニセシマイサキ（7）
- ・シミズシマイサキ（0）
- ・ナガレフウライボラ（0）

特記事項等

- カワボラは複数人が確認。9 区域内を遊泳。
- ナガレフウライボラ、ウラウチフェダイが少なめ。まだ水温が高めなので下流に移送していると予想。
- ヨコシマイサキ、シミズシマイサキは確認できず。

調査のようす



調査票（参考）

調査区域 魚種	1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		計
	個体数	体長など	個体数	体長など	個体数	体長など	個体数	体長など	個体数	体長など	個体数	体長など	個体数	体長など	個体数	体長など	個体数	体長など	個体数	体長など	個体数	体長など	
カワボラ																	1	60					1
ナガレフウライボラ																	3	50	1	40			4
ウラウチフェダイ																					3	若魚1 40×2	3
ニセシマイサキ																			1		6	幼魚3~4 成魚2~3	7
ヨコシマイサキ																							0
シミズシマイサキ																							0

【今後のスケジュール】

R5 年 12 月：第 2 回調査

R6 年 3 月：第 3 回調査

R6 年 4 月：専門家による評価、報告書作成